

※赤文字:必須 黒文字:推奨・任意

参考時間

気象・水象情報

新発田地域整備部

胎内市

住民等

- 72h

新潟県胎内市
◇大雨に関する新潟県気象情報(随時)
◇早期注意情報(警報級の可能性)発表
◇大雨注意報・洪水注意報発表

□ダム・水門の操作人員・連絡体制等の確認
□**河川水位の収集**
□**気象情報(雨量、洪水警報の危険度分布、洪水短時間予報)等を収集・確認**
□第1次配備体制(情報連絡体制の確保)

□監視体制
□水防団への注意喚起
□休校の判断、体制の確認等

□テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等や**洪水警報の危険度分布**の確認
□ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
□防災グッズの準備
□緊急連絡先の確認
□自宅保全

- 48h

◇大雨警報・洪水警報発表



水防団待機水位到達 L1
下館水位観測所(43.90m)

【第1配備体制の基準】
①大雨注意法・洪水注意報発表(推奨)
②水防団待機水位に到達(推奨)
③**大雨警報・洪水警報発表(必須)**

□水防団へ準備指示

□テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等や**洪水警報の危険度分布**の確認

- 0h

警戒
レベル

氾濫注意水位到達 L2
下館水位観測所(44.50m)

□水防警報(L1)

□警戒体制

□テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等や**洪水警報の危険度分布**の確認

2

□応援体制の確認、事前準備

□連絡要員の配置
□河川堤防の巡視(水防警報を受けた時)
□**1時間毎に河川水位の確認**
□**1時間毎に気象情報(雨量、洪水警報の危険度分布、洪水短時間予報)等を確認**

□テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認
□**洪水警報の危険度分布等を確認**

□水防警報(L2)

□第1次配備(事前協議)

□第2次配備体制
【第2配備体制の基準】
・**氾濫注意水位に到達さらに上昇(必須)**

□職員の出動要請
□水防巡視・水防活動状況報告
□災害対策機械の派遣要請

□危険な場所から要配慮者は避難開始
□必要に応じて自主避難開始(要配慮者以外)

□河川巡視開始 □災害対策機械の派遣要請
□建設業協会への巡視指示

□第2次配備(災害警戒本部設置)

3

避難判断水位到達 L3
下館水位観測所(45.10m)

□水防警報(L3)

□高齢者等避難発令

□防災無線、携帯メール等による周知
□避難所開設
□防災無線、携帯メール、緊急速報メール(エリアメール)等による高齢者等避難の受信

- 2.4h

□高齢者等避難の発令状況確認
□河川巡視 □応急対応
□被災状況情報提供 □情報収集・発信(広報)
□ダム洪水調節

□**10分毎に河川水位の確認**
□**10分ごとに気象情報(雨量、洪水警報の危険度分布、洪水短時間予報)等を確認**
□避難指示の発令検討

□危険な場所から避難開始(要配慮者以外)
□防災無線、携帯メール、緊急速報メール(エリアメール)等による避難指示の受信

□ホットライン(危険水位を超える恐れがある時)

□第3次配備(災害対策本部設置)

4

氾濫危険水位到達 L4
下館水位観測所(45.96m)

□水防警報(L4)
□水位周知(氾濫危険情報)

□避難指示発令

□危険な場所から避難開始(要配慮者以外)
□防災無線、携帯メール、緊急速報メール(エリアメール)等による避難指示の受信

- 1.4h

□避難指示発令状況確認
□河川巡視 □応急対応
□被災状況情報提供 □情報収集・発信(広報)
□災害対策機械の派遣要請
□**ダムただし書き操作**

□水防巡視・水防活動状況報告
□防災無線、携帯メール等による周知

□最終的な危険回避行動

□ホットライン(堤防天端を超える恐れがある時)

□災害対策機械の派遣要請

氾濫発生

堤防天端水位到達・越流

□水防警報(L5)
□水位周知(氾濫発生情報)

□緊急安全確保の発令検討

警戒レベル4までに避難完了! ~ ~

5

0h

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

□第3次配備体制(全職員) □応急工事着手
□災害対策会議設置 □緊急調査(TEC-FORCE要請)
□被害状況の把握 □被害状況の公表

□緊急安全確保※発令
□自衛隊への派遣要請要求
□避難者への支援 □防災無線、携帯メール等による周知
□避難所に水防情報提供
※必ず発令される情報ではありません。

□防災無線、携帯メール、緊急速報メール(エリアメール)等による緊急安全確保の受信